

平成25年度第4回習志野市社会教育委員会議事録

日 時：平成26年3月18日（火） 午後2時から3時15分まで
場 所：習志野市教育委員会1階大会議室

出席委員：春名 和美委員、井上 隆夫委員、鮎川 由美委員、中野 和寿子委員、
三代川 寿朗委員、桐生 庸介委員、榎 英子委員、竹内 比呂也委員
欠席委員：鈴木 喜代秋委員、山本 文男委員

出席職員：上野社会教育課長、片岡生涯スポーツ課長、浅野目青少年課長、
菊地青少年センター所長、佐々木菊田公民館長、寄主市民会館長、
東大久保図書館長、生涯スポーツ課 森下主幹、大久保図書館 岡野主幹
社会教育課 河栗係長、池田主事補

傍 聴 者：0名

会議次第

～開会～

1. 副委員長挨拶
2. 議事録署名人選出
副委員長から、榎委員と竹内委員を指名
3. 平成25年度第3回習志野市社会教育委員会議事録の承認について

～議事～

4. 報告事項（進行：春名副委員長）
(1) 平成26年習志野市議会第1回定例会一般質問について
社会教育課長より資料のとおり説明

【質疑】

委員

谷岡議員の放課後児童会運営の今後に向けた対応についてという再質問の回答について、平成26年度中に条例制定とあるが、国の放課後子どもプランにて、放課後児童クラブと放課後子ども教室を連携して実施するという動きがある中で、何か考えがあれば教えていただきたい。

青少年課長

平成26年3月中に示される国の告示を受けて、平成26年の6月あるいは9月の議会にて条例を制定し、平成27年から施行する予定である。現段階では明確に示せないが、中身としては、指導員の配置基準を示すことが挙げられる。開設時間や日数までは定められないと考えている。

放課後児童会と放課後子ども教室の関係性であるが、法改正により、放課後児童会の対象が6年生まで拡大する中で、習志野市では対象が3年生までであるため、受入ができるのかという部分を含めて検討していかなければならない。

委員

放課後児童会で活躍されている方の中には、公民館で活躍されていた方もいらっしゃるだろう。子ども達への教育の質が向上するように、協力して行ってほしい。

委員

2020年のパラリンピックについて、千葉県を会場に進めているという話を聞いている。習志野市として、何かアピールしているのか。

生涯スポーツ課長

パラリンピックは福祉が主に担当している。まだ、会場などが発表になっていないが、希望があればやりたいと考えている。アンテナを高くし、今後も情報収集に努めていきたい。

(2) 平成26年度生涯学習部予算の概要及び主要施策別重点事業について及び(3) 平成26年度社会教育関係団体に対する活動補助金について
社会教育課長より資料のとおり説明

【質疑】

委員

補助金の交付基準はあるのか。

社会教育課長

行政が本来すべき業務を担保している団体に対する補助金と、団体の育成を目的とする補助金の二つがある。各担当課がどちらに値するかを判断する。前者は、交付額を変更する可能性はあるが、必要な全経費を毎年度交付する。後者は、団体として自立できた時点で補助金を廃止し、行政が負担すべき額を交付する。

委員

自主財源率の違いに対する線引きが分かりづらい。活発な活動をするほど、経費がかかるということ等を含めて見直さないのか。例えば、PTAでは、秋津小のPTAへ加入拡大活動のために、活発に活動した。数字を見るとあまり活発な活動をするなど言っているように受け取れる。3年前にPTAは自分達の活動費を増額したが、そういった活動内容を加味してほしい。

社会教育課長

今後については、収支を見て各団体と協議していきたい。第九演奏会の活動補助金について言えば、補助金の見直しに2年がかかった。第九合唱団は、今後会員費の増額を検討しており、今回の補助金の見直しが団体の育成につながり、本来の主旨に適った。協議をするから減るわけではなく、必要な経費は出す。必要ではない部分は自主財源を確保していただく。

委員

補助金決定のプロセスが明確になっていないという印象を受ける。団体の育成の補助金であれば、最大の交付年数を決めていないと団体が育たないのではないか。誰が見てもわかる基準が必要である。

社会教育課長

補助金の交付基準があり、団体の育成に対する補助金は、3年間と決まっている。しかし、団体の育成を目的とする補助金において、習志野市の中で今回の予算編成にて廃止になった補助金は、地域学習圏と第九演奏会の2件である。

副委員長

わかりやすい形で検討されたい。

社会教育委員

その通りである。補助金の交付について明確化しなければいけない。

委員

公民館費が増額になっているが、学習圏会議の補助金が廃止されたことで、その分の金額が増額になったのか。

社会教育課長

公民館費の増額の主な理由は、生涯学習相談員の所管変更に伴うもの。これまで社会教育課が持っていた相談委員の予算を各公民館が持つようになったことで、約1千万円の予算が増えた。それに加え、社会教育課で予算化していた地域学習圏会議の補助金を公民館の実行予算としたことで金額が上がっている。地域学習圏会議の補助金は、主に消耗品に使用されていたが、補助金の交付には時間がかかり、事務が複雑化していた。そのため、公民館が予算を持つことで、事務の簡素化を図っている。

委員

習志野市スポーツ振興協運営費等補助金について、これまでどのようなスポーツ調査研

究を行ってきたのか。また、どのような形で習志野市に反映されているのか。

生涯スポーツ課長

これまで行ってもらっていたスポーツ教室は自主的な事業の中で開催が可能となったため、今年度からスポーツの調査研究を新規に行ってもらおう。特に子ども達に関する事業を中心に調査研究してもらおう。

副委員長

具体的にはどのような調査か。

生涯スポーツ課長

専門的な知識を生かしてもらい、生涯スポーツ課が必要なデータを集めてもらう。まだ、明確には決まっていない。

委員

なぜ今年度から始めようと検討したのか。

生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課に所属する 7 名の職員では対応できない専門的な部分を研究してもらうため。

委員

調査研究を行う場合には、公募・入札をするなどして、経費を抑えるべきではないか。

委員

例えば、ジュニア世代の育成やスポーツの強化といった大きな目標があるというのであればわかるが。

生涯スポーツ課長

大きな目標で見ると、習志野市のスポーツ行政を担っていただくという大きな枠組みがある。その中で体育協会事務局機能等様々なことを行っている。そういったことを行っている。

社会教育課長

生涯学習部の中で、スポーツ振興協会と習志野文化ホールの運営費の補助金は人件費補助が主となっている。人件費を補助するなかで、補助をしている団体の持っているデータを提供していただくために補助の際の条件として入れた。実際、議会等において、スポー

ツ振興協会が行っているスポーツ教室の参加人数等の質問が出る。その際に、実際に実施している団体でなければわからないことを提供していただく必要がある。

委員

この団体でなければ入手が不可能なデータを分析し、習志野市のスポーツ振興の方策を検討するための基礎データを収集する、すなわちこの団体しかできないということであれば納得する。

(4) 藤崎第一児童会及び藤崎第二児童会の完成について

青少年課長よりビデオ映像にて説明

【質疑】

委員

なぜ、児童会にシャワー室を設置したのか。

青少年課長

嘔吐、下痢、外遊びをした場合等の汚れに対応するため。市内の独立した児童会室には、極力シャワー室を設置している。

委員

なぜ第一児童会と第二児童会に分けたのか。分けることによって運営がスムーズに行くのか。

青少年課長

基本的に、児童会の運営は、指導員が面倒を見られる児童数である40名規模が望ましいという基準が国から示されている。

委員

職員を増やして一つの児童会にすれば、建物の経費を節約できたのではないか。

青少年課長

児童が増えれば、指導員を増やし、二教室で一つの児童会を運営している。

副委員長

第一児童会と第二児童会は別々なのか、それとも二つで一つの児童会ということか。

青少年課長

市の単独予算では賄いきれない部分があるため、二つの児童会に分けることで、二児童

会分の国の補助金を受けた。

副委員長

子どもはどう分けるのか。

社会教育課長

第一児童会と第二児童会は別々で登録している。

委員

古い建物の活用の予定はあるのか。

青少年課長

学校としては、必要がないということだが、元々小学校の図書館と体育倉庫であるため、体育倉庫としての活用を含め、学校と話をしているが、解体という話までいっていない。

委員

床等が危険だから建て替えしたわけではないのか。

青少年課長

建物の老朽化のために建て替えをした。常時人が配置される事務所としては問題が、体育倉庫であれば、使用に問題はないと考えている。解体も検討しているが、費用の面の問題もあるので、平成26年度中に方向性を探りたい。

委員

独立している児童会の数はどのくらいか。

青少年課長

16小学校のうち、独立した専用施設になっている児童会は、藤崎・谷津南・大久保東・大久保・鷺沼である。また、学校の体育館を使用している児童会が香澄・秋津である。

委員

階段の造りが気になったが、危険性はないのか。

青少年課長

幅の広い外階段となっており、手摺も付いているため問題はない。大久保東小の児童会も外階段があるが、危険とは聞いていない。

委員

津田沼小学校は校舎の中に児童会を作ったのか。

青少年課長

余裕教室を活用しているのではなく、学校内に併設した児童会であるため、学校の補助金と児童会の補助金を使って建設した。

委員

定員に余裕はあるのか。

青少年課長

習志野市は、今現在定員を設けてはいないが、藤崎児童会は40名規模の児童会として建設しており80名規模の施設に、1階と2階を合わせて60人が登録している。また、実際の登室児童は更にその5割から7割となっており、余裕はある。

～閉会～

議事録署名
